

(様式1)

校番	高2
----	----

平成28年 7月22日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定資料（報告）

月日（曜日）	選定の手順・手続き等
6月 8日（水）	・ 平成29年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書採択事務説明会に出席する。
6月17日（金）	・ 校長は、校内における平成29年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「平成29年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。
6月24日（金）	・ 選定委員会において、教科用図書選定が公正かつ適正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。 ・ 校長は、調査員を任命する。 ・ 選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。
6月24日（金） ～7月8日（金）	・ 調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。
7月11日（月）	・ 調査員は、調査結果を選定委員に報告する。
7月12日（火）	・ 選定委員会を開催し、平成29年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。
7月21日（木）	・ 校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成29年度使用教科用図書申請書を作成する。
7月22日（金）	・ 校長は、広島市教育委員会へ、平成29年度使用教科用図書申請書を提出する。

(様式2)

校番	高2
----	----

平成28年 7月22日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

1 学校の特徴

「おのれに徹して、人のために生きよう」を校訓として、これを指針とした教育の実践を目指している。一人ひとりの能力を最大限に伸ばすとともに、あらゆる活動の主体として自由と責任を自覚し、人の多様性を認め、その中であって自己を高めようとする人物の育成に努めている。特に、希望進路を保障する教科学力を育むことを目標とし、国公立大学入試および私立大学入試に対応するため、1年次は基礎的な学力養成に重点を置いている。

普通科普通においては、2年次から文系と理系に分かれ、それぞれの進路希望や興味・関心に応じた教科・科目選択を行い、基礎的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けることを目指している。

普通科国際コミュニケーションコースでは、国際理解教育やより実践的な英語教育などを行う学校設定科目を配置するとともに、少人数授業を取り入れるなどコースの特色を生かした授業展開を行い、高い学力を備えたグローバル社会でのリーダーとしての資質向上を図っている。

2 生徒の実態

生徒は学習に主体的に取り組むことができる。普通科普通、国際コミュニケーションコースともにほとんどの生徒が大学進学を希望しており、国公立大学への進学希望者が多くを占めている。なかでも難関大学へ進学する生徒が増加しており、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、それらを活用した学習や探求的な学習を希望している。

また、部活動を最後までやり遂げ、勉学との両立を目指している生徒が多い。

3 調査の観点及び視点

	観点	視点
①	基礎基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述
②	学習方法の工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

平成29年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 3 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 4 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
1	国語	国語総合	183 第一	国総 358	高等学校改訂版 新訂国語総合 現代文編	◎	○	◎	○	◎	選定 生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう、単元として「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示している。
			50 大修館	国総 344	国語総合 改訂版 現代文編	◎	○	○	○	○	
1	国語	国語総合	183 第一	国総 359	高等学校改訂版 新訂国語総合 古典編	◎	○	◎	○	◎	選定 生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう、適宜、教材末に言語活動を設け、具体的な学習テーマと事例を示している。
			50 大修館	国総 345	国語総合 改訂版 古典編	◎	○	○	○	○	
2	国語	現代文B	2 東書	現B 302	精選現代文B	◎	○	◎	○	◎	選定 思考力・判断力・表現力の育成が図れるよう、各教材末に、読解したことを表現したり言語活動につなげたりする設問を示している。
			50 大修館	現B 310	精選現代文B	◎	○	○	○	○	
③	国語	現代文B	2 東書	現B 302	精選現代文B	◎	○	◎	○	◎	選定 思考力・判断力・表現力の育成が図れるよう、各教材末に、読解したことを表現したり言語活動につなげたりする設問を示している。
2	国語	古典B	15 三省堂	古B 304	高等学校古典B 古文編	◎	○	◎	○	◎	選定 生徒が古文の基礎的な知識を身に付けられるよう、「文法の要点」を掲載している。また、具体的な課題を示した言語活動を設定している。
			183 第一	古B 322	高等学校古典B 古文編	○	○	○	○	○	
2	国語	古典B	15 三省堂	古B 305	高等学校古典B 漢文編	◎	○	◎	○	◎	選定 「読むこと」の能力の伸長が図れるよう、具体的な課題を示した言語活動を設定している。
			183 第一	古B 323	高等学校古典B 漢文編	◎	○	○	○	○	

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その2)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	国語	古典B	15 三省堂	古B 304	高等学校 古典B 古文編	◎	○	◎	○	◎	選定	生徒が古文の基礎的な知識を身に付けられるよう、「文法の要点」を掲載している。また、具体的な課題を示した言語活動を設定している。
						◎						
③	国語	古典B	15 三省堂	古B 305	高等学校 古典B 漢文編	◎	○	◎	○	◎	選定	「読むこと」の能力の伸長が図れるよう、具体的な課題を示した言語活動を設定している。
						◎						
2	地理歴史	世界史A	7 実教 2 東書	世A 311 世A 310	世界史A新訂版 世界史A	◎	○	◎	◎	○	選定	生徒が学習内容を復習しやすいうよう、各章末に学習した内容を見開き1ページにまとめてある。「stepup」では、基礎基本を踏まえて発展的な内容を盛り込んだ構成となっている。
						◎	○	○	◎	○		
2	地理歴史	世界史B	81 山川 2 東書	世B 310 世B 308	詳説世界史 改訂版 世界史B	◎	○	◎	◎	○	選定	生徒が学習したことを大きくとらえることで「まとめ」を設けている。
						◎	○	○	○	○		
3	地理歴史	世界史B	81 山川 2 東書	世B 304 世B 308	詳説世界史 世界史B	◎	○	◎	◎	○	選定	探究的な学習が行うことができるよう、探究のポイントを示した「主題学習」を適宜設けている。
						◎	○	○	○	○		
③	地理歴史	世界史探究	81 山川	世B 304	詳説世界史	◎	○	◎	◎	○	選定	探究的な学習が行うことができるよう、探究のポイントを示した「主題学習」を適宜設けている。
						◎						

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その3)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	地理歴史	日本史A	81 山川	日A 311	日本史A 改訂版	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高め学習を進められるよう、資料を随所に掲載するとともに、内容を深めるための「コラム」を適宜設けている。
			2 東書	日A 308	日本史A 現代からの歴史	◎	○	○	◎	○		
2	地理歴史	日本史B	81 山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。
			81 山川	日B 308	高校日本史	○	◎	○	◎	○		
3	地理歴史	日本史B	81 山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。
			81 山川	日B 308	高校日本史	○	◎	○	◎	○		
③	地理歴史	日本史探究	81 山川	日B 301	詳説日本史	◎	◎	◎	◎	○	選定	発展的な学習の充実を図るため、学習内容に関する資料等を基に当時の様子を深く理解するための「コラム」を適宜掲載している。
2	地理歴史	地理A	46 帝国	地A 308	高等学校 新地理A	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、さまざまな地域と日本の関わりを紹介する「コラム」を適宜設けている。
			130 二宮	地A 309	基本地理A	◎	○	○	◎	○		
2	地理歴史	地理B	46 帝国	地B 304	新詳地理B	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が見通しを持って学習できるように、各ページに「リード」を設け、学習の課題や考える視点を示している。
			130 二宮	地B 305	新編 詳解地理B改訂版	◎	○	○	◎	○		

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	地理歴史	地理B	46 帝国	地B 304	新詳地理B	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が見通しを持って学習できるよう、各ページに「リード」を設け、学習の課題や考える視点を示している。
			130 二宮	地B 305		◎	○	◎	◎	○		
③	地理歴史	地理探究	46 帝国	地B 301	新詳地理B	◎	◎	◎	◎	○	選定	発展的な学習の充実を図るため、学習した内容に加えて、さらに詳しく説明する「プログラマ α 」を適宜掲載している。
2	地理歴史	地理A	130 二宮	地図 311	詳解現代地図 標準高等地図 — 地図でよむ現代社会 —	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が主体的に活用できるよう、各地域を読み取る視点を示し主題図を掲載する「地図で読み解く地域」を設けている。
			46 帝国	地図 309		○	◎	◎	○	○		
2	地理歴史	地理B	130 二宮	地図 311	詳解現代地図 標準高等地図 — 地図でよむ現代社会 —	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が主体的に活用できるよう、各地域を読み取る視点を示し主題図を掲載する「地図で読み解く地域」を設けている。
			46 帝国	地図 309		○	◎	◎	○	○		
③	地理歴史	地理B	130 二宮	地図 305	現代地図帳	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の地図に対する理解を深めることができないよう、掲載している地図の図法とその特徴を説明している。
③	地理歴史	地理探究	130 二宮	地図 305	現代地図帳	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の地図に対する理解を深めることができないよう、掲載している地図の図法とその特徴を説明している。

広島市教育長様
 (学校教育指第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その5)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	公民	現代社会	104 数研	現社 320	改訂版 高等学校 現代社会	◎	◎	○	○	◎	選定	目的意識を持って学習できるよう、各項目の冒頭に身近な生活と関連した問いを掲載している。話し合っ考察を深めることができるよう、「Closeup」や「現代を考える」を適宜設けている。
			7 実教	現社 315	最新 現代社会 新訂版	◎	◎	○	○	○		
2	公民	倫理	35 清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	○	◎	◎	○	○	選定	生徒が見通しを持って学習できるように、各単元の冒頭において、その単元を学習するポイントを生生活を結びつけて説明している。
			81 山川	倫理 309	現代の倫理 改訂版	○	○	○	○	○		
③	公民	政治経済 探究	35 清水	倫理 307	高等学校 新倫理 最新版	○	◎	○	○	○	選定	生徒が興味関心を高められるよう、内容を深めるための「Close-up」を適宜掲載している。
3	公民	政治経済 探究	2 東書	政経 302	政治・経済	○	○	◎	○	○	選定	生徒が課題意識を持って学習に取り組むことができるよう、小単元ごとに学習のポイントを問いの形で示している。
			183 第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済	○	△	△	○	△		
3	公民	倫理・政経	35 清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	○	○	◎	○	○	選定	生徒が見通しを持って学習できるように、各単元の冒頭において、その単元を学習するポイントを生生活を結びつけて説明している。
			81 山川	倫理 309	現代の倫理 改訂版	○	○	○	○	△		
3	公民	倫理・政経	2 東書	政経 302	政治・経済	○	○	◎	△	○	選定	生徒が課題意識を持って学習に取り組むことができるよう、小単元ごとに学習のポイントを問いの形で示している。
			183 第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済	◎	○	△	○	△		

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その6)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	数学	数学I	104 数研	数I 310	数学I	◎	◎	◎	◎	○	○	より高度な数学への関心を高めることができよう。適宜、「発展」のページを設けている。また、中学校との関連を重視し、基礎的な事項について体系的に学習できるように構成している。
			61 啓林館	数I 307	詳説 数学I	◎	◎	○	○	○	○	
1	数学	数学II	104 数研	数II 309	数学II	◎	◎	◎	◎	○	○	興味関心を高めることができよう。内容に関連した「コラム」を取り上げている。また、その章のはじめには、内容に関するある数学者を取り上げ、数学が発展してきた様子を学べるようにしている。
			61 啓林館	数II 307	詳説 数学II	○	○	○	◎	◎	○	
②	数学	数学II	104 数研	数II 309	数学II	◎	◎	◎	◎	○	○	興味関心を高めることができよう。内容に関連した「コラム」を取り上げている。また、その章のはじめには、内容に関するある数学者を取り上げ、数学が発展してきた様子を学べるようにしている。
2	数学	数学III	104 数研	数III 308	数学III	◎	◎	◎	○	○	○	学習内容の定着を確認できるよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。
			61 啓林館	数III 305	詳説 数学III	◎	◎	○	○	○	○	
③	数学	数学III	104 数研	数III 308	数学III	◎	◎	◎	○	○	○	学習内容の定着を確認できるよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。
1	数学	数学A	104 数研	数A 310	数学A	◎	◎	○	○	○	○	より高度な数学への関心を高めることができよう。適宜、「研究」のページを設けている。また、学習指導要領の範囲を超えた内容は「発展」として掲載している。
			61 啓林館	数A 307	詳説 数学A	◎	◎	△	○	○	○	

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その7)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	数学	数学B	104 数研	数B 309	数学B	◎	◎	◎	◎	○	選定	発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。
			61 啓林館	数B 306	詳説 数学B	◎	◎	○	○	○		
③	数学	数学 演習1	104 数研	数B 309	数学B	◎	◎	◎	◎	○	選定	発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。
③	数学	数学 演習A	104 数研	数Ⅱ 309	数学Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	選定	興味関心を高めることができるよう、内容に関連した「コラム」を取り上げている。また、その章のはじめには、内容に関する数学者を取り上げ、数学が発展してきた様子を学べるようにしている。
③	数学	数学 演習B	104 数研	数B 309	数学B	◎	◎	◎	◎	○	選定	発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。
2	理科	物理基礎	104 数研	物基 318	改訂版 物理基礎	◎	○	◎	◎	○	選定	学習内容を振り返ることができるよう、理解しづらい内容や間違えやすい箇所を重点的に説明した「Zoom」を設けている。また、基礎基本の定着を図ることができるよう、例題と類題や、演習問題による問題演習を設けている。
			61 啓林館	物基 315	物理基礎 改訂版	○	○	○	◎	○		
2	理科	物理	104 数研	物理 304	物理	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、理解しづらい内容や間違えやすい箇所を重点的に説明した「Zoom」を設けている。
			61 啓林館	物理 303	物理	○	○	○	◎	○		

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その8)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	理科	物理	104 数研	物理 304	物理	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができよう、理解しづらい内容や間違えやすい箇所を重点的に説明した「Zoom」を設けている。
1	理科	化学基礎	183 第一 2 東書	化基 321 化基 313	高等学校 改訂 化学基礎 改訂 化学基礎	◎	○	◎	◎	◎	選定	巻末資料の中で、探求活動の進め方や実験の基本操作等を詳しく示している。また、多様な言語活動が可能となるよう、英文で記述した「英文特集」を設けている。
2	理科	化学	183 第一 2 東書	化学 307 化学 301	高等学校 化学 化学	◎	◎	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図り、学習を深めることができるよう、節末問題の中に「論述問題」を設けている。
③	理科	化学	183 第一	化学 307	高等学校 化学	◎	◎	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図り、学習を深めることができるよう、節末問題の中に「論述問題」を設けている。
③	理科	化学演習	183 第一	化基 311	高等学校 化学基礎	◎	○	◎	◎	○	選定	学習内容の理解を深めることができよう、節末問題の中に「論述問題」を設けている。また、探究活動や実験についての豊富な資料を掲載している。
1	理科	生物基礎	104 数研 183 第一	生基 316 生基 318	改訂版 生物基礎 高等学校 改訂 生物基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、関連する内容や、日常生活にかかわりのある内容を示した「参考」や「コラム」を掲載している。

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その9)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
2	理科	生物基礎	104 数研	生基 316	改訂版 生物基礎	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味関心を高めることができるよう、関連する内容や、日常生活にかかわりのある内容を示した「参考」や「コラム」を掲載している。
			183 第一	生基 318	高等学校 改訂 生物基礎	◎	○	◎	○	○	
2	理科	生物	104 数研	生物 303	生物	◎	◎	◎	○	◎	基礎基本の定着を図り、学習内容を深めることができるよう、研究の方法と結果をもとに考察する「思考学習」を設けるとともに、各章末に学習したことを総合的に、また「整理の問題」を掲載している。
			61 啓林館	生物 302	生物	○	◎	○	○	○	
③	理科	生物	104 数研	生物 303	生物	◎	◎	◎	○	◎	基礎基本の定着を図り、学習内容を深めることができるよう、研究の方法と結果をもとに考察する「思考学習」を設けるとともに、各章末に学習したことを総合的に、また「整理の問題」を掲載している。
			104 数研	生基 306	生物基礎	◎	◎	◎	◎	○	
③	理科	生物演習A	104 数研	生基 306	生物基礎	◎	◎	◎	◎	◎	基礎的な力を付けることができるよう、章末に「整理の問題」を掲載している。また、生徒の興味・関心を高めることができよう、巻末に生物種のまとめを掲載している。
			104 数研	生基 306	生物基礎	◎	◎	◎	◎	○	
③	理科	生物演習B	104 数研	生基 306	生物基礎	◎	◎	◎	◎	◎	基礎的な力を付けることができるよう、章末に「整理の問題」を掲載している。また、生徒の興味・関心を高めることができよう、巻末に生物種のまとめを掲載している。
			104 数研	生基 306	生物基礎	◎	◎	◎	◎	○	

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その10)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	理科	地学基礎	61 啓林館	地基 308	地学基礎 改訂版	◎	○	◎	○	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができよう、章ごとに「章末問題」を設けている。また、多様な言語活動ができよう、多様な内容の問題を豊富に掲載している。
			104 数研	地基 309	新編 地学基礎	○	○	◎	○	○		
③	理科	地学演習	104 数研	地基 304	地学基礎	◎	○	◎	◎	○	継続	生徒の学習の理解を深めるよう、「参考」を多く掲載するとともに、本文を解説する「図の解説」を掲載している。
1	保健体育	保健	50 大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	◎	◎	○	◎	◎	選定	言語活動の充実を図るとともに、課題解決的な学習を行うことができよう、各項目末に学習内容をさらに深めることができるような課題を設けている。
			183 第一	保体 306	高等学校 改訂版 保健 体育	◎	○	○	◎	○		
②	保健体育	保健	50 大修館	保体 301	現代高等保健体育	◎	◎	○	◎	◎	選定	学習内容の理解をより深めることができよう、学習した内容を確認する項目末課題が設定されている。
1	芸術	音楽Ⅰ	27 教芸	音Ⅰ 309	高校生の音楽1	○	◎	◎	◎	○	選定	生徒が主体的に学習に取り組みめるよう、題材ごとに冒頭で目標を示すとともに、学習を深める「コラム」を設けている。また、「吹き出し」により、「問いかけ」などを示している。
			27 教芸	音Ⅰ 310	MOUSA1	◎	○	○	○	○		
2	芸術	音楽Ⅱ	27 教芸	音Ⅱ 304	高校生の音楽2	◎	◎	○	◎	◎	選定	生徒が主体的に学習に取り組みめるよう、題材ごとに冒頭で目標を示すとともに、学習を深める「コラム」を設けている。
			27 教芸	音Ⅱ 303	MOUSA2	○	○	○	○	◎		

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その11)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	芸術	音楽Ⅲ	17 教出	音Ⅲ 301	音楽Ⅲ	◎	◎	○	○	◎	選定	生徒が音楽の魅力表現できよう、紹介文・批評文を書くことを通して音楽の魅力伝える課題を設定した特設ページを設けている。
			27 教芸	音Ⅲ 302	Joy of Music	◎	○	○	○	○		
1	芸術	美術Ⅰ	116 日文	美Ⅰ 305	高校生の美術Ⅰ	○	◎	◎	○	◎	選定	生徒が美術に興味をもって学ぶことができよう、作品理解に関わる事項をクイズ形式で掲載している。また、作品を通して話し合うなどの言語活動が充実するよう、表現や鑑賞のポイントを示している。
			38 光村	美Ⅰ 304	美術Ⅰ	○	◎	○	○	○		
2	芸術	美術Ⅱ	116 日文	美Ⅱ 302	高校美術Ⅱ	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、図版を紙面を大きく使ってわかりやすく掲載している。また、広島を生徒に身近な「Hiroshimaappeals」のポスターを資料として掲載している。
			38 光村	美Ⅱ 301	美術Ⅱ	○	○	○	◎	○		
3	芸術	美術Ⅲ	116 日文	美Ⅲ 302	高校美術Ⅲ	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、各題材において、その分野の専門家を挙げ、その人物の作品や創作過程を通してその分野を学習できようとしている。
			38 光村	美Ⅲ 301	美術Ⅲ	○	○	○	◎	○		
1	芸術	書道Ⅰ	38 光村	書Ⅰ 308	書Ⅰ	◎	○	◎	○	◎	選定	筆の動きがわかるよう、手本とする同じ字体の数種類の拓本ごと此起筆・送筆・収筆とコマ送り写真で示している。
			17 教出	書Ⅰ 307	新編 書道Ⅰ	◎	○	○	○	◎		
2	芸術	書道Ⅱ	2 東書	書Ⅱ 301	書道Ⅱ	◎	◎	○	◎	○	選定	書の基礎基本が確実に身に付けられるよう、漢字の書と仮名の書の古典において、「臨書・鑑賞の要点」と「自己評価の要点」を示している。
			17 教出	書Ⅱ 303	書道Ⅱ	○	◎	○	○	○		

広島市教育長 檜
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その12)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
3	芸術	書道Ⅲ	2 東書	書Ⅲ 301	書道Ⅲ	○	◎	◎	◎	○	選定 生徒の興味関心を高めることができるよう、書道に関するコラムや図版を数多く掲載した「書道史略年表」を設けている。
			38 光村	書Ⅲ 304	書Ⅲ	○	○	◎	○	○	
1	外国語	コミュニケーション 英語Ⅰ	15 三省堂	コⅠ 333	CROWN English Communication I New Edition	◎	○	◎	○	◎	選定 レッスン課末ごとの“Your Reaction”において、読んだ内容をもとに自分の意見を書く活動や自分の意見を述べたり話し合ったりする技能統合型の言語活動を設定している。
			212 桐原	コⅠ 355	PRO-VISON English Communication I New Edition	◎	○	○	○	○	
2	外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	15 三省堂	コⅡ 306	CROWN English Communication II	○	○	◎	○	◎	選定 4技能をバランスよく育成することができるよう、レッスンの“Activities”に、聞いた内容について自分の考えをまとめて書いて発表したりする言語活動を設定している。
			183 第一	コⅡ 322	Perspective English Communication II	○	○	◎	○	○	
3	外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	183 第一	コⅢ 320	Perspective English Communication III	○	◎	◎	○	◎	選定 多様な言語活動により本文の内容を深めることができるよう、レッスンの“Activity Plus”に、自分の意見をまとめて発表したり、ペアやグループで意見交換する言語活動を設定している。
			15 三省堂	コⅢ 305	CROWN English Communication III	○	◎	○	○	○	
1	外国語	英語表現Ⅰ	104 数研	英Ⅰ 332	DUALSCOPE English Expression I	○	○	◎	○	◎	選定 ペアやグループでの言語活動の充実を図るために各パートの課末に“Let's Try”を、各レッスンの終末には“REVIEW ACTIVITY”を設けている。
			15 三省堂	英Ⅰ 324	MY WAY English Expression I New Edition	○	◎	○	○	○	
2	外国語	英語表現Ⅱ	61 啓林館	英Ⅱ 307	Vision Quest English Expression II Advanced	◎	○	◎	○	○	選定 段階的に表現力を身に付けることができるよう、教科書をパート1～3の3部構成にし、基本的な英語表現をプログラミングライティングやプレゼンテーション、ディベート等につなげる学習活動を設定している。
			104 数研	英Ⅱ 308	POLESTAR English Expression II	◎	○	○	○	○	

広島市教育長様
 (学校教育指第二課)

平成28年 7月22日

学校名 広島市立舟入高等学校

校長名 日浦 毅

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その13)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	外国語	英語表現Ⅱ	104 数研	英Ⅱ 308	POLESTAR English Expression II	○	◎	◎	○	○	選定	まともである英語を構造的に書くことができよう、教科書を4部構成にし、「トピック別ライティング」や「パラグラフライティング」を段階的に設けている。
						○						
③	英語	英語理解	183 第一	Ⅱ 322	Perspective English Communication II	○	○	◎	○	◎	選定	ペアやグループでの言語活動により、本文の理解を深め、生徒の表現力を高めるよう、「Reproduction」に“Over to You”を設けている。
						○						
③	英語	時事英語	183 第一	Ⅰ 323	Perspective English Communication I	○	○	◎	○	◎	選定	本文の理解を深め、根拠とともに自分の考えを伝えることで生徒の表現力を高めるよう、「Reproduction」に“Over to You”を設けている。
						○						
③	英語	英語演習	104 数研	英Ⅰ 309	POLESTAR English Expression I	○	◎	◎	○	◎	選定	ペアやグループでのシミュレーションや、インターネットなどの情報をまとめるなど、実生活の使用場面を意識した言語活動ができるよう、各レッスンの終末に“Real-World English”を設けている。
						○						
1	家庭	家庭基礎	9 開隆堂	家基 317	家庭基礎 明日の生活を築く	◎	◎	◎	○	○	選定	見通しを持った学習ができるよう、単元の冒頭に学習内容やねらいを提示している。学習した内容と身近な疑問を関連付けて理解できるよう、科学的に捉える「サイエンスアライ」を設定している。
						◎						
1	情報	社会と情報	2 東書	社情 309	新編 社会と情報	◎	◎	◎	○	○	選定	草ごしらえに学習内容の理解を深めることができると、学習資料を掲載している。また、学習到達状況を確かめるよう、草末問題を掲載している。中学校で学習した内容を振り返ることができよう、巻末に中学校で学習した内容のまとめを設けている。
						◎						

(様式4)

広島市立舟入高等学校平成29年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校（以下「学校」という。）において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立舟入高等学校平成29年度使用教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員7人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

(1) 学校の校長・教頭・事務長・教務主任

(2) 保護者代表・学校協力者会議委員代表・学識経験者

2 委員の任命及び委嘱は校長が行う

3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の10月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、校長とする。

3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。

4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立舟入高等学校において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成28年 6月17日から施行する。